

公立大学法人熊本県立大学 第3期中期計画（H30-35）の重点事項

本学は、「総合性への志向」、「地域性の重視」、「国際性の推進」を理念とし、「地域に生き、世界に伸びる」をスローガンに掲げている。第3期中期計画においては、第2期に取り組んできたことの実質化を図り、国際的な視野と認識を高めるとともに、地域との幅広い協働を確立する教育研究を引き続き発展させる。また、総合性を重視しつつ、独自の専門性を十分に生かした質の高い教育研究を推進していく。 ※[]は計画番号

（1）国際的な視野と認識を高める教育研究の推進

地域課題に柔軟に適応し、かつ、グローバルな視点で活動できる学生を育成するプログラム「もやいすと：グローバル(仮)」を新設するとともに、学生の海外留学や留学生の受入れを促進し、相互交流や異文化理解を図り、国際的な視野と認識を高める教育研究を推進する。

具体的計画

【教育】

- ・「もやいすと：グローバル(仮)」プログラムの新設 [5]
- ・学内で日常的に英語に触れる場“English Lounge(仮)”の新設その他カリキュラム内外での英語による多様な取組みの拡充 [7]
- ・グローバル化推進のための外国人留学生受入れ増加の取組みの推進 [2]
- ・英語を含む外国語能力の向上 [6]

【国際交流】

- ・学生の海外留学・研修メニューの拡充 [28]
- ・学生の留学支援のための経済支援の拡充及び危機管理対策の推進 [29]
- ・学内外での国際交流や異文化理解の機会の拡充 [30]
- ・海外協定校との派遣・受入れの相互交流拡充、外国人留学生の受入環境整備の推進 [31]
- ・海外大学等との間の研究者交流・共同研究等の推進 [32]

（2）地域との幅広い協働を確立する教育研究の推進

第2期に引き続き、熊本地震からの創造的復興への支援を含め、地域貢献を視野として地域に学ぶことを重視し、地域課題の解決に資する研究活動を行い、また、社会人・職業人に対する教育を推進する。

具体的計画

【教育】

- ・防災・減災や復興支援を視野に、地域の諸問題を題材とした実践的な教育の推進、地域リーダーを養成する本学独自の教育プログラム「もやいすと育成システム」の完成 [4]
- ・地域におけるボランティア等の活動その他学生の自主性を育む課外活動の活性化への支援 [14]
- ・社会との接続を念頭に置いたキャリア教育の推進 [17]
- ・インターンシップ等を通じた就業力育成、県内企業に関する情報提供等も含めた学生の希望に沿った就職支援 [18]

【研究】

- ・独自性のある研究及び地域の課題解決に貢献する研究の推進、熊本地震の体験に基づく防災・減災及び復興支援を視野とした研究の推進 [19]

【地域貢献】

- ・各種公開講座の充実及び専門的職業能力開発支援プログラムの推進 [27]

（3）社会や時代の状況を踏まえた対応

社会や時代の状況を踏まえ、教育内容・教育方法及び教育研究組織等の検証を行い、効果的な改善・見直しにつなげるほか、業務運営の改善・効率化や防災対策の推進等についても積極的に取り組む。

具体的計画

【教育】

- ・入学者受入方針(AP)に基づく多様な入学者選抜の実施及び入試改革 [1]
- ・学修成果の可視化と評価、学位授与方針(DP)及び教育課程編成・実施の方針(CP)の検証・改善 [8]

【教育研究組織】

- ・総合性と専門性のバランスを考えた知の形成に向けた学部学科、研究科及び附属機関等のあり方の検討 [34]

【自己点検・評価】

- ・内部質保証の観点からの点検・評価及び改善、方針・体制の検証 [44]

【安全管理】

- ・施設設備の防災的観点からの維持管理、事業継続計画(BCP)の策定その他の防災対策の強化 [48]

【業務運営】

- ・事務の簡素化、合理化及び重点化 [39]

【財務】

- ・効率的な運営及び経費の抑制 [43]
- ・外部資金獲得の推進 [41]
- ・授業料の確実な徴収等による学生納付金の確保 [40]